

月報の発刊 にあたって

建材試験センターの発足は、昭和38年8月で、既に2カ年になる。種々な狭さを克服しつつ、創立当初に樹立した諸計画が比較的順調に実現化されて、漸く建材の試験機関としての機能を発揮するようになった。政府や民間業界の財的ならびに精神的な援助により、事業活動も軌道に乗りつつある消息を逐一記録して、広く官界学界民間業界に披露しつつ、一層の活用を冀求するために、何等かの措置を構すべきであるとの一般の声に応えるべく、ここに月報を刊行することとした。関係する先々は、官界・学界・建材業界・建設業界等多方面に及び、月報刊行のための経費も莫大なものであるが、幸にして工業調査会の協力を得ることができたので、創立2周年を記念する事業の一として、「建材試験センター月報」を刊行することになったのである。

月報の内容をどのように編集するかは仲々むずかしい問題である。理事会・評議員会・委員会等の記録を形式的にならべ立てて見ても余りにドライになり過ぎるし、個々の依頼事項の内容を披露することは差し障りが生ずるおそれがある。種々な配慮を加えながら記述せねばならぬが、要は「建設産業の近代化に如何にして役立つか」の究極の狙いを念しつつ記述するに努めたい。何回か経験している間に、自然に形式が整ってくるであろう。また試験研究の成果の特筆すべきものは、別な方式によって摘出して発表することとしたい。

財団法人 建材試験センター理事長 笹森 異

目 次

Vol. 1 No. 1 Sept, 1965

- I 設立の沿革
- II 昭和38年度の運営財源
- III 試験場の設営
- IV 昭和38年度の事業の概要
 - 1. 依頼試験
 - 2. 工業標準化原案作成
 - 3. コンサルタント業務
- V 財団法人建材試験センターの設立
- VI 業務執行の遣り方
- VII 昭和39年度の業務の概要
 - 1. 会合に関する事項
 - 2. 39年度事業計画および実績
 - 3. 受託試験
 - 4. 工業標準化原案作成業務
 - 5. 調査研究、技術指導に関する受託
- VIII 39年度末までに整備された試験施設